

一般廃棄物最終処分場の選定経過等について

1. これまでの経過等

平成14年4月から名取市、岩沼市、亶理町、山元町の2市2町で構成する「亶理名取共立衛生処理組合」で処理を開始

○構成市町既存所有施設（平成14年度時点）

- ・名取市（焼却場、最終処分場）
- ・岩沼市（焼却場、最終処分場）
- ・亶理町・山元町（最終処分場、焼却場） ※広域処理

○耐用年数、老朽化による建て替え方針策定（一つの市町に偏らない）

- ・岩沼市に新焼却場（平成28年4月稼働）
- ・名取市に新最終処分場（候補地未確定）

2. 名取市における候補地選定経過（※資料2の位置図参照）

	年度	場所	断念理由	備考
1	平成20年度	高館熊野堂字棟沢地内	埋立容量の変更	7万m ³ →10万m ³
2	平成30年度	愛島塩手字滝沢地内	時間的経過	
3	令和3年度	小塚原字西土手外地内	膨大な整備費用	90億円～180億円

3. 現在の処理状況

民間処理業者へ運搬処理を委託

- ・令和3年度 5,319.80 t（委託費 166,224 千円）
- ・令和4年度 5,562.43 t（委託費 173,941 千円）

4. 候補地選定方法

新一般廃棄物最終処分場候補地選定委員会を設置

- 法的規制地域の除外、その他諸条件による候補地の抽出
- 専門的意見、客観的・合理的理由による選定
- 選定における透明性の確保